

2023 年（令和 5 年）学校評価（関係者評価）報告書
いずみナーサリー

配布アンケートについて

質問事項	15 項目
配布対象	11 名（家庭数 2024 年 1 月末現在） 回答者 10 名
回収期間	2024 年 1 月 15 日～1 月 31 日

（1）集計結果



(2) 自由記述より (一部抜粋)

- 第一子の子育てかつ職場復帰の2本柱で生後6か月の子どもを預けて働くなんていいのだろうか・・・と悩んでいたところ、ナーサリーに預けることができたことで、今すべてにやりがいを感じています。ナーサリーにつくと遊具やお友だち、先生の元へ走っていくということは、子どもにとってセーフティーかつ楽しく安心できる場所であり、信頼できる繋がりが増えました。
- 困っていることや大変だと感じることに寄り添ってもらえることで、ナーサリーでやっていることを真似してみよう、先生方に聞いてみよう、と親の心の拠り所になっています。自然や季節ものに触れ、楽しく明るく子どもが過ごせていることに感謝しています。
- 本人の個性を大切に育みながら心身ともに健康に情緒豊かに育っていると感じます。また日々の送迎の際や個人面談では家庭の状況や子どもの性格などを考慮したアドバイスが、保護者の利便性よりも子どもの成長を第一に考えてのものなので、信頼して預けることができます。学生さんとの交流があることで、ひとりっ子でも多くの人とかかわり感情体験を積める点もありがたいです。
- 6か月で入園し、母乳しか飲まず、ミルクなしで保育園に預けることが不安でしたが、仕事と子どもに合わせた時間の受け入れや、必要に応じて授乳でき、安心して仕事ができます。子どもも毎回ワクワクして通っています。
- 同い年の友だちだけでなく、上下の年齢のお友だちとも一緒に過ごせる環境が、子どもの成長につながっていると感じます。
- のびのびと自己表現できるのは、どんな時でも娘の声や感情に心を寄せて受けとめてもらっているからだと感じています。また、なんでも相談しやすい雰囲気、親だけではなく、ナーサリーと連携しながら育児をしているという感覚を持つことができ、それが安心感につながっています。

(3) 結果分析と今後について

15項目中、「当てはまる」が100%を占めたのは4項目で、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」はゼロであった。ナーサリーの保育に対して、概ね安心感と信頼感を寄せていただいていることに感謝すると共に、「だいたい当てはまる」の回答があった点をしっかりと受け止めたい。不安や不満、疑問などを抱いたときに、些細なことでも安心して声に出してもらえよう関係を保護者の方と築いていけるよう、子どもを真ん中に、保護者

の方と、共に考え育ち合う関係の在り方を引き続き考えていきたい。

ナーサリーの保育の発信については、毎月発行する一人ひとりの「ポートフォリオ」で個人の姿を、「いずみだより」でその月の保育の様子を伝えるようにしてきたが、日々の保育の中での子どもの姿について連絡帳だけでは分かりづらいところを、補うことができるような写真掲示や動画上映会なども適宜実施していきたい。

「わからない」という回答があった2項目については、その項目内容を未経験である、もしくは内容について周知が不十分であることによるものと思われる。おやつボランティアやインターンシップの受け入れについても、当月のいずみだよりを通して保護者の方にお知らせしていたが、年度途中に入った保護者の方には伝える機会を逸していた。この項目については、毎年の課題として上っているので、年度途中入所が多いナーサリーでの情報共有や発信については、具体的な検討の方法を考えていきたい。

保護者同士の交流については、年2回の親子で遊ぼう会（土曜開催）や保護者会（平日夕方複数日設定）があるが、全員が集える機会をもつことはなかなか難しい。平日、仕事や授業があり、近隣在住の方ばかりではないので、土曜日の交流を増やすことは、かえって保護者の負担を大きくする懸念もあるため、近い年齢の子どもを育てている仲間として、交流できる機会の在り方を、考えていきたい。（メッセージボード活用など）

次年度は月に1回、平日午後カフェタイムを検討中で、保護者の方のお迎えの時間にお茶を飲んで一息ついてもらえる時間をつくりたいと考えている。ナーサリーに預けていない学内で子育て中の方も利用できるようにし、子育て支援と交流の場としていきたい。

アンケートの回答方法については、保護者の方の声や思いがより届きやすいように、デジタルアンケート等の利用も検討していく。